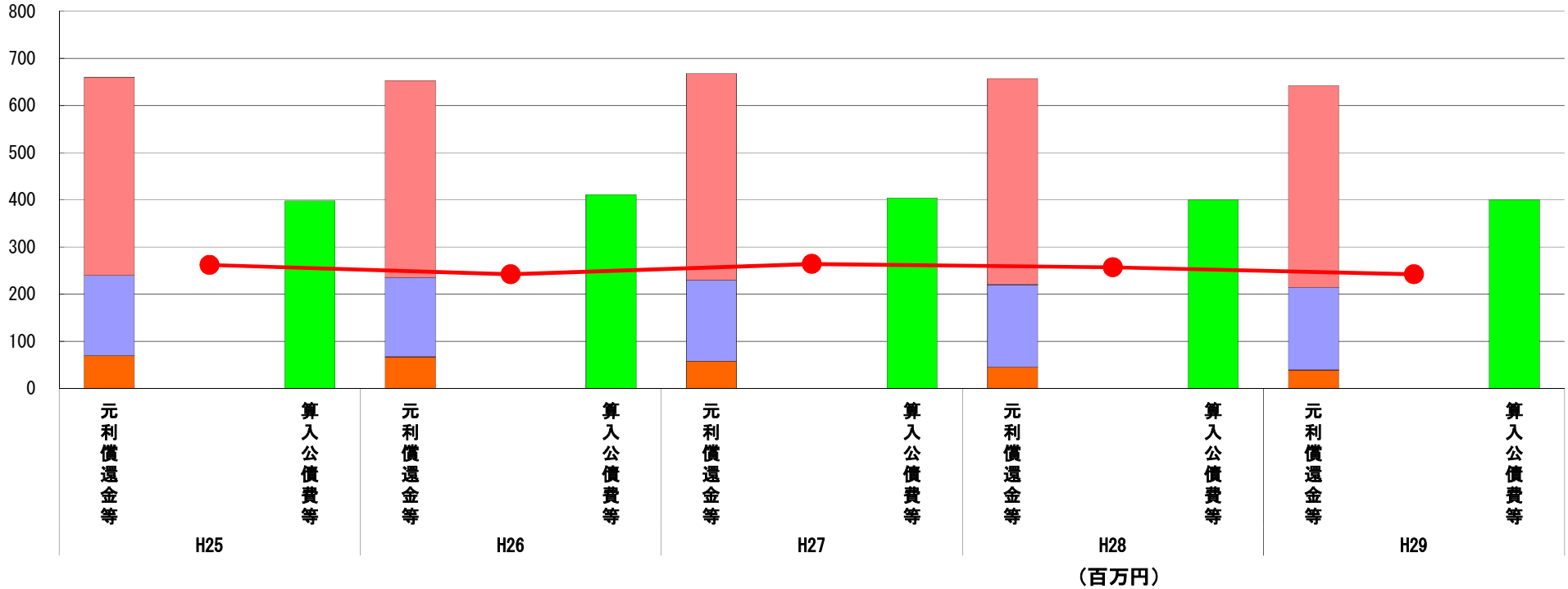


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

宮城県大郷町

(百万円)



分子の構造		年度				
		H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金	420	418	438	437	428
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	170	168	172	175	175
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	70	67	58	45	39
	債務負担行為に基づく支出額	0	0	0	0	0
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	398	411	404	400	400
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	262	242	264	257	242

**分析欄**

実質公債費比率は年々減少してきており、平成29年度は前年度と同じ9.8%となっている。

元利償還金については、前年度より9百万円減少し、今後も地方債の新規発行の抑制により減少していく見込みである。

また、公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、前年度同額となっているが今後は減少傾向となる見込みである。

今後、町営住宅建設に係る起債償還が見込まれており、地方債の新規発行抑制等引き続き健全化の維持に努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。